

## 令和2年度第2回守谷市総合教育会議 会議録

1 日 時 令和3年1月27日（水） 午後1時30分～2時40分

2 場 所 守谷市役所議会棟2階全員協議会室

3 出席者

|              |         |
|--------------|---------|
| 〔構成員〕 守谷市長   | 松丸修久    |
| 教育委員会        |         |
| 教 育 長        | 町 田 香   |
| 教育長職務代理者     | 河 原 健   |
| 委 員          | 寺 田 弘   |
| 委 員          | 萩 谷 直 美 |
| 委 員          | 椎 名 和 良 |
| 〔事務局〕 教育部長   | 宇田野 信 彦 |
| 教育部次長兼学校教育課長 | 小 林 伸 稔 |
| 生涯学習課長       | 福 島 晶 子 |
| 指 導 室 長      | 古 橋 雅 文 |
| 学校給食センター所長   | 坂 登 司 男 |
| 中央図書館長       | 石 川 みどり |
| 係 長          | 寺 田 佳 代 |

4 協議・調整事項

（1）令和3年度教育委員会主要事業について

5 会議の概要

○教育部長

本日、傍聴希望者はおりませんでしたので、会議を進めさせていただきます。開会にあたりまして、松丸市長からご挨拶をお願いいたします。

○松丸市長

こんにちは。お忙しい中ご出席をいただきありがとうございます。コロナ禍ではありますが、守谷市は当初想定したよりもコロナに感染する方が少ない状況です。市民の皆様が日々の生活において、的確に新型コロナウイルス対策を実施しているおかげだと実感しています。守谷市の教育行政においては、委員の皆様のおかげで非常に先進的な取り組みを行っていることに感謝申し上げます。本日の新聞には、小学校の高学年の教科担任制を、国が2022年度から導入をするという記事が掲載されていました。守谷市は先進的に今年度から導入するなど、総合的に教育のトップランナーとなっています。市としても、魅力の発信という意味で非常に大きな意味があると感じております。これもひとえに皆様のご協力のおかげと改めて御礼申し上げます。

○教育部長

ありがとうございました。次に、町田教育長から御挨拶をお願いします。

○町田教育長

改めまして皆さんこんにちは。日頃から、守谷市の教育行政に当たって全面的にご支援をいただき大変感謝を申し上げますと共に、引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。市教育委員会のスタッフの新年度の人事面についてもご配慮くださいますようお願い申し上げます。

本日は新年度の主要な事業等について説明いたします。お配りしました資料「わくわく子育て王国守谷」表紙に、「時代を変える時代を作る」という言葉があります。これがまさしく今の守谷を象徴している言葉と思っています。守谷の教育は、市長からあった教科担任制、あるいは守谷型カリキュラムマネジメント等、時代を先取りした新しい取り組みを進めています。取り組んだ成果として、日本中から注目をされていますし、文部科学大臣の視察も受けるというようなこともありましたし、つい最近では、兵庫県の明石市教育委員会が、同じ取り組みをしたいとご連絡をいただきました。また守谷中学校に、石川県の中学校から同様の取り組みを行うため情報交換をしたいという申し出があったと報告を受けています。いろいろなところで注目をされている守谷の教育、カリキュラムマネジメント、また教科担任等時代を変える取り組みをしてまいりました。そういったものを土台にして、来年度は時代を新しく作っていくGIGAスクールの時代にあたっての新しい守谷の教育を作っていくことが目標になると思います。内容については、後ほど説明させていただきますが、教育先進地としての自負を持ちながら、新たな取り組みを子供たちのために積極的に推進していく、それが教育委員会に与えられた使命と考えています。精一杯皆様と力を合わせ、教育委員の皆様のアドバイスを受けながら、推進していきたいと考えています。

○教育部長

本日の会議ですが、令和3年度教育委員会主要事業についてご協議をいただきたいと思います。令和3年度に実施を予定しております教育委員会所管の主要事業について、市長と教育委員会との連携を深めるための議論をさせていただきたくよろしく願いいたします。ご協議いただくに当たり、資料No.1に主要事業13事業を掲げています。新たに取り組む事業あるいは重点的に推進していく事業ということで選定しています。資料に基づき各事業の概要について所管課長から説明いたします。

○学校教育課長

資料No.2, 1～5について説明します。令和3年度の学校教育課の主要事業は主に学校施設の工事関係です。資料No.2－1黒内小学校校舎増築事業、資料No.2－2郷州小学校校舎改修工事は令和2年度からの継続事業で、いずれの工事も期限内での工期完成をめどに順調に工事を進めています。予算額については、黒内小学校が7億2,587万円、郷州小学校が6億5,740万8,000円で、主に工事費の竣工払い分を計上しています。資料No.2－3守谷中学校の増築工事は、黒内小学校区の児童数の増加に伴い通学区域となる守谷中

学校で令和５年度以降、教室の不足が想定されています。令和２年度に校舎増築の実施設計を終え、令和３年度から２年間かけて校舎の増築工事を始めるため、工事費として３億６，３２６万２，０００円を予算計上しています。建築場所については西門側の職員駐車場に鉄筋コンクリート３階建て９教室を増築し、既存の校舎と行き来できるよう整備する予定です。資料№.２－４愛宕中学校体育館の改修事業の実施設計です。愛宕中学校体育館は、建築から３８年が経過し、建物の老朽化診断で屋根や外壁、内部が著しく老朽が進んでいることが確認されました。令和４年度から改修工事を行うため、令和３年度に改修工事の実施設計を行うものです。設計額として１，７５６万７，０００円の委託料を予算計上しています。資料№.２－５小中学校ＩＣＴ環境整備事業については、予算上は小学校と中学校を別々に計上していますが、全体のＩＣＴに掛かる費用がわかるように、合算しています。小中学校のＩＣＴ環境については、令和３年度から児童生徒１人１台の端末が配備されますので、ＩＣＴ環境を有効に生かした授業の展開、教職員の働き方に繋がるような授業、校務に必要なソフト・アプリ等の予算を新たに計上しています。令和３年度の予算は３億７，１７０万２，０００円で、令和２年度の当初予算に比べると、１億２，８８０万円の増額です。主な費用としては、ｉＰａｄの追加購入費用です。令和２年度、国の補助事業を活用し、児童生徒の３分の２である４，０７１台を整備しました。残り３分の１の従来から使用しているパソコンについては、令和３年の８月末をもってリース期間が切れますので、旧機種からｉＰａｄに機種を変更するため、購入費用を計上しています。また、機種変更に合わせ、授業業用ソフトやドリル教材も新たに導入するため１，７６７万円の費用を計上しています。校務支援システムについては、これまで学校ホームページや保護者へのメール配信等で使用してきたスクールコミュニケーションというシステムが、８月末で使用期限が切れるため、校務支援システムにホームページ作成機能を追加し、学校ホームページのリニューアルを図りたいと考えています。また、学校や保護者間でやりとりができるように、ＧＳuiteというアプリを導入します。その費用として２，１９５万９，０００円を計上しています。その他、インターネット回線の増設や、端末のセキュリティ強化、ネット環境のない家庭のＷｉ－Ｆｉルーターの貸し出し等を新たに計上しています。令和３年度からＩＣＴ教育推進グループを指導室内に組織し、ＩＣＴ教育を推進していくための専属のグループを新設します。あわせて約６，０００台の端末を管理運営していくため、外部の方に支援していただくための委託料を計上しています。

その他、主要事業に未掲載ですが、現在御所ヶ丘中学校の校舎の改修事業の実施設計を財政課と協議しています。それらの予算についても、令和３年度の予算に計上する予定で現在調整をしているところです。

#### ○生涯学習課長

資料№.２－６～８について説明します。資料№.２－６児童クラブ運営事業は２億８，８４１万５，０００円の事業費を計上しています。令和３年度は黒内小学校が３クラブ増となり、合計３１クラブの常設施設に加え、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、学校の

特別教室を借用するなど、当面の間1クラブ当たりの人数を減らし新しい生活様式を取り入れた生活の場を提供します。また、老朽化に伴い、大井沢小第1、松ヶ丘小第2クラブの、床・外壁塗装などの大規模改修を行います。さらに、保護者の多様なニーズに応えるため、令和4年度からの導入を目指し、付加価値の高いサービスを提供できる民設クラブに対応するため補助制度の創設を進めてまいります。そのため前年度比は8,100万円強の増額になっています。資料No.2-7芸術文化振興事業は新規としましたが新たな取り組みではなく、既存のタベのコンサート事業、芸術祭事業、守谷市美術作家展事業や、文化協会補助事業を一本化することで、市が市民の皆さんと協働で総合的に芸術文化振興を推進するための予算枠としたもので、合計で242万4,000円の事業費を計上しています。例年8月に開催しているタベのコンサートについて、令和3年度から会場を市庁舎からリニューアルした中央公民館ホールに変更します。音響・照明など改修した設備をフル活用して開催する予定です。変更することで舞台の設営費がなくなりますので、合計で約100万円程度の削減になります。また、文化協会の活動支援としまして、メインイベントである守谷市芸術祭のほか、市民向けの講座や教室、音楽コンサートや映画会、講演会等、多様なジャンルの事業を開催するという予定です。そのために補助金を56万5,000円ほど増額しています。合計では、事業全体で前年度比の42万2,000円の減になります。資料No.2-8スポーツによる地域活性化推進事業は新規事業としていますが、新たな取り組みということではなく、既存の各種スポーツ大会開催事業とスポーツフェスティバル開催事業を一本化することで、国が推進しているスポーツによる地域活性化施策と連携し、市が主体的・総合的にスポーツを推進するための予算枠です。主な内容としては、スポーツ協会との共催で、市民スポーツ大会、常総市・坂東市と共催で国体記念の県中学校ハンドボール大会等の開催、市民の皆さんが気軽にスポーツに親しむきっかけを作るためにイベントを開催するなど、合計で304万3,000円の予算を計上しています。令和3年2月に市のスポーツ振興や市民の健康づくりを主な目的とする企業2社との包括連携協定を締結する予定です。企業と協働でスポーツ人口の増加促進などを目指した事業を実施して参りたいと思っています。その他、子供の体力向上を図る取り組みや、県南・県西地域の広域連携の取り組みなどにより、前年比116万5,000円の増額になります。

#### ○指導室長

資料No.2-9～10について説明します。資料No.2-9英語4技能育成（オンライン英会話）事業について、従来市の外国語教育推進事業においてALTの全校配置、さらに守谷小学校・黒内小学校、各中学校においては、2名の配置をしていました。それに加え、英語ネイティブスピーカーによるオンライン指導を導入することにより、新学習指導要領で重視されている、聞く・話すの部分の育成をより充実させていく目的で導入を検討しています。中学校2年生・約640名、4中学校で実施する予定です。1人当たり年間10時間、1人1台のタブレットを活用して、月1回約20分程度外国人講師と一対一で画面越しに対峙して会話を行うという事業です。生徒のレベルに合わせて会話をすることができ、特に聞

く・話すの技能の向上を個別に図ることができると考えています。今後、テスト等で行われるようリスニングについても向上していくと考えています。資料No.2 - 10 スクールソーシャルワーカー活用事業は令和3年度からの新規事業です。児童・生徒個々が抱える悩み、また不登校の問題などの原因は様々です。児童生徒並びにその保護者が置かれた環境に働きかけ、場合によっては、関係機関とのネットワークを活用して、専門性の高いソーシャルワーカーを配置することで、児童生徒の悩み、保護者への働きかけや支援を行えると考えています。保護者の抱える悩みについては担任も踏み込みにくい領域もありますので、家庭と学校を結ぶ役割をソーシャルワーカーしていただき、担任と一緒にまたはソーシャルワーカー単独で家庭訪問等をしていただき、問題を抱える児童生徒が置かれた環境へ働きかけを行っていきたいと考えています。また、市児童福祉課・総合支援センター・児童相談所・医療機関等と連携を図りながら、家庭の抱える悩み、児童生徒の抱える悩みを少しずつ解消していき、学校との関係がスムーズになるように考えています。1日6時間、月14日程度を考えています。週3日を目安に活動する予定です。保護者・児童生徒のニーズに合わせて、時間を設定できるフレキシブルな契約を検討しています。

#### ○学校給食センター長

資料No.2 - 11 について説明します。資料No.2 - 11 学校給食センター改築事業は、事業期間は令和元年度から令和4年度、限度額35億8,902万5,000円の債務負担行為を含んでいます。現在の市給食センターの施設が調理能力の限界を上回る可能性があることや、衛生面についても、昭和59年に作られた環境に対し、現在は衛生管理基準を満たしていない部分があることから、改築・建て替えをすることとなりました。事業のスケジュールについては、令和元年12月に議会の議決を経て、令和4年3月開業に向けて今現在工事を進めています。現在はくい杭打ちの方、全て打設を終了いたしまして、今は地下ピットの土間にコンクリートを流しているという状況です。

#### ○中央図書館長

資料No.2 - 12～13 について説明します。資料No.2 - 12 図書館運営管理事業は事業費1億2,370万を計上しています。前年比116万1,000円の増となっています。実施事業に関しては令和2年度と大きく変わる部分はないのですが、会計年度任用職員の期末手当が増えたことが主な理由とです。令和3年度は図書館・公民館も含め、39名の会計年度任用職員を任用する予定です。資料No.2 - 13 学校図書館活動推進事業は、事業費2,368万3,000円で、前年比122万5,000円の増です。図書館運営管理事業と同様、会計年度任用職員の期末手当が増えたことが主な理由です。統括学校司書1名と各校1名の計14名の学校司書が週5日、中学校は1日4時間、小学校は1日6時間の勤務となっています。実施事業といたしまして、令和2年度との違いは郷州小学校の改修に伴う図書室の整備、中学校用のブックバックを開始できるよう現在準備を進めています。また、新型コロナウイルス感染症の関係で一部事業を見合わせていた中学校でのビブリオバトル（当初令和2年度実施予定）について計画的に行っていく予定です。

○市長

ただいま令和３年度の重点事業の説明が終わりましたが、第三次学校教育改革プランの説明をさせていただきたいと思います。

○指導室長

令和３年度に実施計画をしているわくわく子育て王国守谷、第三次学校教育改革プランについて説明します。第三次教育改革プランは、大きく三つのプランがあります。

まずはプラン１「守谷型GIGAスクール構想」です。令和３年度から国が進めているGIGAスクール構想に沿って、守谷市においても、タブレットが児童生徒３人に１台から、１人１台へと変わっていきます。今までも、他市町村に比べ、タブレットを活用した教育については先進しており、学力向上に結びついていく活用法について先生方のノウハウは明らかに高くなっています。同時に、児童生徒の活用スキルも極めて高く、守谷を視察する他市町村の方からは、児童生徒の活用する姿を見て毎回驚きの声を上げていただいています。すでに他市町村に比べて、ある程度完成形に近づいているところに、１人１台のタブレットが導入されることで個に応じた学びの充実をさらに図ることができ、オンラインによるデジタル教材の活用、DMMを活用した外国語活動の充実、学校間交流の活性化、また県の方で行っている茨城オンラインスタディを活用したオンデマンド授業による学習支援など活用の幅は令和２年度以上に幅広く広がっていくことが考えられます。さらに、教師の働き方改革にも直結するオンラインを活用した学校と家庭のデジタル連携についても推進します。現在準備を進めているGSuite等を活用した連絡帳のデジタル化、各種文章配布や、様々な行事等の参加確認書のデジタル化、オンライン上で行う保護者アンケート等を想定しています。今までは紙媒体で行ってきた家庭との連携・連絡をクラウド上で行うということを検討しています。実施に当たっては、タブレットの持ち帰りに伴うマニュアルの作成や、家庭に持ち帰った際の破損の問題等クリアしなければならない点がいくつかあります。課題を一つ一つ解決していき、実施に向けて準備を進めていきたいと考えています。このように、学校の授業・家庭との連携のあり方は、令和３年度から大きく変化していく予定です。それに伴い、先生方の戸惑い、不安といったものも当然あります。それをサポートしていくために、令和３年度から指導室にICT教育推進グループを設け、機器のメンテナンス、機器の使い方、授業での活用方法等について、万全の体制で臨んでいきます。

次にプラン２「もりやハートウォーミングプラン」についてです。ICTを活用した授業による学力向上を実践しているところですが、その前提として大切なことは子供たちが学校に楽しく通っていると思えることです。そのため、子供たちが安心して通える学校づくり、いじめ・不登校ゼロパックを実践していきたいと考えています。具体的には、年２回「いじめをなくそう仲良し週間」を実施します。「いじめをなくそう」をテーマにした授業を全学校・全学級で実施する予定です。１回目は小学３～６年生、中学２年生では学級における満足度や自己肯定感等を図ることができるQUテストというものを実施します。このテストでは、学級内における自分の存在価値が数値として出ますので、数値を低く感じている児童

生徒には、特に声かけを行い、学級への帰属意識を高めていくといった形で活用していきます。2回目は親子の絆を深めることを中心とした短歌づくり、名称としましては、「家守詩（やもりうた）」の作成を考えています。これは児童生徒が上の句、保護者が下の句を作成し一つの短歌を作成するといったものです。児童生徒と家庭をつなぐ一つ的手段とし、文化祭等で掲示したいと考えています。こういった様々な取り組みをすることで、子供たちが楽しく学校に通えるような措置を講じてまいります。それ以上に個別に手厚い支援が必要な児童生徒・保護者には、スクールソーシャルワーカーの配置を検討しています。スクールソーシャルワーカーは学校と家庭をつなぐことはもちろん、児童福祉課・市総合支援センター・児童相談所等との連携を図り、児童生徒が学校生活を送るための壁を一つずつ取り除いていく支援を行います。さらに、子供たちが太陽の下元気に遊ぶことも心身の成長には欠かせません。小学校では、通常の二倍程度の時間を設定したロング昼休み、通称「遊ゆうゆうタイム」を創設します。これを定期的 to 実施し、子供たちのコミュニケーション力、創造力の向上を目指します。

最後に、「もりやニューノーマルプラン」です。令和元年度から新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、学校生活は大きく変わらざるをえない状況になっています。新型コロナウイルス感染症の心配がゼロになる世の中が一番望ましいところですが、難しい状況です。そのため、新型コロナウイルス対策を考えながら生活していかなければなりません。安全な学校づくりを目指し、令和2年度から加湿器の設置・水道蛇口のレバー化等を行っています。また、令和3年度からは、現在の用務員を学校環境サポーターとして配置していく予定です。これは今まで管理職等が行っていた校内の簡単な修理や緑化作業を担当し、学校環境を整える仕事をしてもらうものです。これにより、空いた時間等を児童生徒に目を向ける時間に活用することができ、すぐに安心安全を確保することが可能になります。このような第三次教育改革プランを実行していくことで、ICTを活用した学力向上、児童生徒の安心・安全の確保、そして健康安全の確保を図ることが可能になると確信しています。今ご説明した細かい内容については、各「わくわく子育て王国もりや」各冊子にまとめていましたので、ご覧ください。

○市長

資料の説明につきましては、以上となります。資料の内容、或いは説明に対する何かご質問がありましたら、ここでお受けしますがいかがでしょうか。

#### －質疑・協議－

○寺田委員

資料No.2－3 守谷中学校校舎等増築事業は、現在の教職員の駐車場等々を活用し増築を行います。その場合、教職員の駐車場が確保できるのでしょうか。さらにグラウンドそのものが中学校としては非常に狭い感じを受けます。さらに、現在のプールの使用は可能でしょ

うか。

また、令和3年度の組織改編について、ICT教育推進グループを作ることについては素晴らしいことと感じていますが、学校教育課では現在、施設管理グループが2名という体制です。これだけ各学校の方の増築・改築等が行われる中で、適当な職員の配置が必要と感じています。より良い学校施設整備・維持管理のために施設管理グループの増員を検討していただきたいです。

#### ○学校教育課長

職員駐車場の代替えの場所は、武道場脇とTXの側道にスペースに約40～50台程度の職員用駐車場を整備する予定です。グラウンドの広さについて、守谷中学校の校庭は約3,000㎡程度があり、国の基準に照らしても基準は満たしており、学校運営に支障はございません。守谷中学校のプールは使える状態ですので引き続き使っていきたいと考えています。

学校教育課の体制については、指導室の方にICT教育推進グループができるため、学校教育から指導室へ1名の職員が異動予定です。そのため、教育総務グループが5名から4名に1名減になります。学校教育課補佐の職務を一部指導室に移管する予定のため、教育総務グループ・施設管理グループの支援に回る予定です。また、施設管理グループの職員が2名ということで人事異動が難しい状況です。今後、両グループの統合について検討を行います。

#### ○河原委員

7月の総合教育会議で話題になったGIGAスクール構想での協議において、機器の維持管理・運営のために人員の配置について協議し、新たなグループも創設されるという案を立てました。3月議会の予算においても実現できるようよろしくお願いします。

学校の回収については、計画に基づき、子供たちの環境を整えるために毎年大規模改修工事が進んでいるということを市民にPRする必要があると思います。

また、2年前に中央図書館の管理運営を民間委託業務から市直営に変更しました。運営状況はスムーズにいらっていると感じています。市長としてはどのように感じているかお聴きたい。

#### ○市長

指定管理者から市直営に戻したというのは非常に大きな決断だったと思います。守谷中央図書館含めて、とてもきめ細やかなサービスができていると感じます。コロナ禍の中で昨年から休館の期間もありましたが、その中でも何とか市民に本を届けられないかと努力もしてきました。市民の皆さんからは喜びの声が届いていますので、市直営に戻したことの弊害より、プラスの方が多いと感じています。

#### ○教育長

図書館を市直営に戻すことは、学校図書館の充実もねらいの中に入っていました。以前に比べると間違いなく学校図書館の充実が図られています。中央図書館との連携の中で、学校図書館は環境が改善し、快適な環境になりました。子どもたちがお昼休み等に非常に多く本



を借りることにつながっていると報告も受けております。

○椎名委員

第三次学校教育改革プランについて、プラン2の子どもたちの心と体を育てるための「遊ゆうタイム」というのを小学校で入れていただいたことが非常に素晴らしいと思います。今一番今子供たちに不足しているのは、五感を生かした遊びの部分だと思います。コミュニケーション能力・想像力を育むのが非常に難しい状況です。ただ、体力の向上を望むと指導が入るため、自由に過ごすことができなくなってしまうと感じました。

先ほど市長が2022年度に小学校の算数・理科・英語が専科になるということをお話されていました。現在守谷市では理科専科の講師が入っていますが、学校現場から理科振興備品が不足しているなどの声は上がっているのでしょうか。理科の授業は視覚と聴覚で感じるデジタルのみならず、嗅覚や触覚などで感じる教育振興備品が必要と感じています。現場で苦慮している部分があったら教えていただきたい。

○学校教育課長

教育振興備品については、各学校から上がってくる要望に対して、優先順位をつけて配分しています。整備については各学校と協議しながら進めていきます。

○市長

椎名委員からご意見があったように遊びの中から体力を増強できるという事業を推進する遊育(遊ぶ・育てる)事業というものがあります。これは子供たちが遊びながら体を鍛え、体を鍛えることで脳が活性化していくことがあるので、今後遊育施設を作るように研究を行っています。大学始め、民間の方にそういった事業を展開できないかと動き出しています。来年度以降、新しく全国から注目されるような取り組みもしていきたいと考えています。

○教育長

学校で令和3年度から行う遊ゆうタイムは、市長がお話しした遊育を意識した形です。将来的には遊育事業の受け皿となるための創設になっています。

○萩谷委員

遊ゆうタイムは、遊ぶ時間だけが長いというわけではなく、全員が外に出て遊べるような体制を考えているのでしょうか。休み時間が長くなっても、遊びに行かない子も出てくるのではないかと思います。遊ゆうタイムの時間は、全員が外に出て積極的に体を動かせるという取り組みですか？

○指導室長

この時間に限っては、普段外に出ないお子さんについても、太陽の下に出て外の空気に触れるといったことを経験やおもしろいということを全ての子供に体験させたいと考えています。学級レクリエーションという形をとるか、自由に遊ぶ時間を取るか、併用していくかについては、今後学校と協議をしながら進めていきます。

○教育長

基本的には自由に遊んでもらう形がいいと思っています。できれば先生たちにも遊びに

出てもらいたいと思います。1週間に1日1回は校長先生をはじめ、全部の先生が出て、子どもと一緒に遊べる時間を作りたいと考えています。自由に遊びの本来持っている楽しさを感じてもらえるような時間があればいいかなとは思っています。

○萩谷委員

現在、守谷市で理科専科の先生の授業が行われています。5年生の子どもが、理科が急に好きになったと言っています。すごく楽しい授業を展開していて、とても楽しんで授業を受けているそうです。

○市長

教科担任の成果が上がっているということですね。

令和3年度から中学2年生だけDMM英会話を利用したオンライン授業を行います、令和2年度の半年の試行期間を経て効果等の検証を説明します。

○指導室長

先生からの意見聴取によると、英語の先生方からぜひ令和3年度もDMM英会話の授業を行いたいということを聞いています。令和2年度は各学校1回以上実施し、令和3年度から行う形式と同様に1人1台の対面で、20分間の会話を行っています。授業中には英語教諭やALTもいるので、会話をためらう子にはちょっと補助に入る形で、相手にレベルを合わせてもらい会話をするという時間を確保しています。

○市長

DMM英会話の担任の人は毎回変わるのか。

○指導室長

毎回変わります。こちらからテーマを伝え、そのテーマに沿って会話します。全世界にいる講師で、予約可能な人が入る形になるので担任という形にはなりません。

令和3年度には、単元末に単元で使った文章で、その単元の会話をするといったことを想定しています。

○市長

来年度は自分のパスワードさえあれば家庭においても会話できるのではないかと。

○指導室長

契約上は授業の中での活用なので、オプションの部分については検討中です。いつでも会話ができる状態の契約にすると、金額的に莫大にかかることから、学校の授業の中での活用を前提に進めています。各個人で契約するとなると、予算の面や各家庭の環境等から同じ条件での学習が難しい状況です。令和3年度は、中学2年生の生徒に同じ教育機会をとということで、授業の中で全員10回行う予定です。

○寺田委員

学校環境サポーターの配置について質問です。けがや障害を負った時にはどのように補償しますか。

○学校教育課長

身分的に会計年度職員のため、一般職員と同じ補償となります。

○教育部長

質疑・協議をいただきありがとうございました。事務局は協議いただいた内容を受け、進めていきたいと思います。それでは以上で、令和2年度第2回守谷市総合教育会議を閉会とさせていただきます。皆さまありがとうございました。